

「韓国は誕生日が毎年変わる？」

キムシンヒョン
太宰府市国際交流員 金辛滋

毎年、新年になると私の母は親戚の誕生日を新しいカレンダーに書き写す作業をしていました。ところが、この時少し変なことがあります。昨年と誕生日が同じ人がいれば、そうでない人もいるということです。なぜでしょうか？

その理由は韓国には自分の誕生日をまだ陰暦（ウンリョク・旧暦）で数える人がいるからです。現在、私たちが一般的に使っているカレンダーは陽暦（ヤンリョク・新暦）のため、旧暦の方法で誕生日を数える人は毎年誕生日が変わることになるのです。例えば、陰暦1月1日に生まれた人の陽暦での誕生日は昨年だと2月12日、今年だと2月1日のように毎年変わるようになります。ただ、韓国でもこのような方法で誕生日を数える人はほとんどがお年寄りの人で、若い人は基本的に陽暦で数えています。



韓国では、他にもまだ例外的に旧暦を使う場合があります。それは旧正月（元旦）、秋夕（日本のお盆）のような節日です。韓国が昔は旧暦を用いていたことから、旧正月や秋夕のような伝統的な祝祭日には今でも旧暦を用いています。最近の若者が旧暦をあまり利用しないとはいえ、このような伝統行事が受け継がれてゆく限り、韓国で旧暦が消えることはなさそうです。

人権標語

涙の雨で
ぬれないように
さしてあげよう
心のかさを

学院中1年 原 叶萌さん
(応募時)



いちき まさこ
一木 雅子(太宰府市石坂区) 小原流

花材 プロテア、オンシジウム、
晒し垂れ桑 ほか

季節の生け花

太宰府市華道連盟

つれづれ

太宰府短歌会

冷え著き夜半に聞こゆる虎落笛
悔いなきひと世と寂聴氏逝く

五条 大敷 晶代

身をかがめ木下を掃くに甘夏で
頭を打つ朝黄ばみ初めをり

朱雀 黒木 邦枝

令和4年八十路むかえるわが馬は
ぼとぼとながら何とかが乗れる

通古賀 詫摩 典子

早春にセラニユーム咲き秋今は
終句ふ裏町帰る

福岡市 竹森 祐彦

気にはぬ風もあらうにパチンコ屋の
愛想ふりまく風船人形

糟屋郡 仲道 朋子

太宰府俳句会

神籬の樟に一礼初詣

東観世 中島 祝乃

初明り心しづかに年女

観世音寺 山口 律子

年ごとに小さくなりゆく鏡餅

連歌屋 吉嗣 のり子

我もまた五黄の寅や明の春

筑紫野市 幸田 はるみ

一声の親しかりけり初鶉

水城 福永 惠美

飛梅句会

疫に明けて疫に惑はされ年暮るる

うきは市 中川 寿朗

山間の里を彩る冬紅葉

馬場 野上 コト子

枯蓮や余白けだるき水の色

観世音寺 野田 杉子

年の暮選び抜かれし文字は金

筑紫野市 羽野 喜久代

枯れ極め風音走る蓮田かな

青葉台 平野 香

宝満句会

伐採の遠き餅や冬木立

福岡市 工藤 友子

山風の蹟くものなき冬田

高雄台 川路 泰子

夕映えに影濃く引いて冬木立

大佐野台 金丸 恵子

冬の田に舞ひ降り騒ぐ群雀

東ヶ丘 竹家 京子

天を突くメタセコイヤの冬木立

大野城市 福岡 とみ子

都久志てんじん句会

音沙汰のなき子の「既読」柿落葉

福岡市 宮津 英里子

落花生月夜の下で実を結び

福岡市 北川 朴洋子

客を待つ床屋夕暮れ師走かな

福岡市 塩飽 たか子

海風に思考削られ冬の朝

筑紫野市 貞金 志帆

大根掛け背振の裾のほか知らず

青葉台 彦坂 正幸

太宰府川柳倶楽部

たまたま会った友の名前が出てこない

湯の谷 山口 善暉

野性の血失せたか三毛は寝てばかり

国分 岸本 しずえ

飼い猫が野性を見せて爪立てる

福岡市 王丸 真知子

パン食に満足できぬ伸び盛り

観世音寺 松浦 ちえ

もう一度噛みしめたくて母のパン

都府楼 杉良子